

ミロン

ミロンとはベンガル語で、手をつなぐという意味です。

編集・発行 **■**バングラデシュと手をつなぐ会 **■**

〒814-0002 福岡市早良区西新5-4-20 (TEL:092-844-1369)(FAX:092-781-9658)

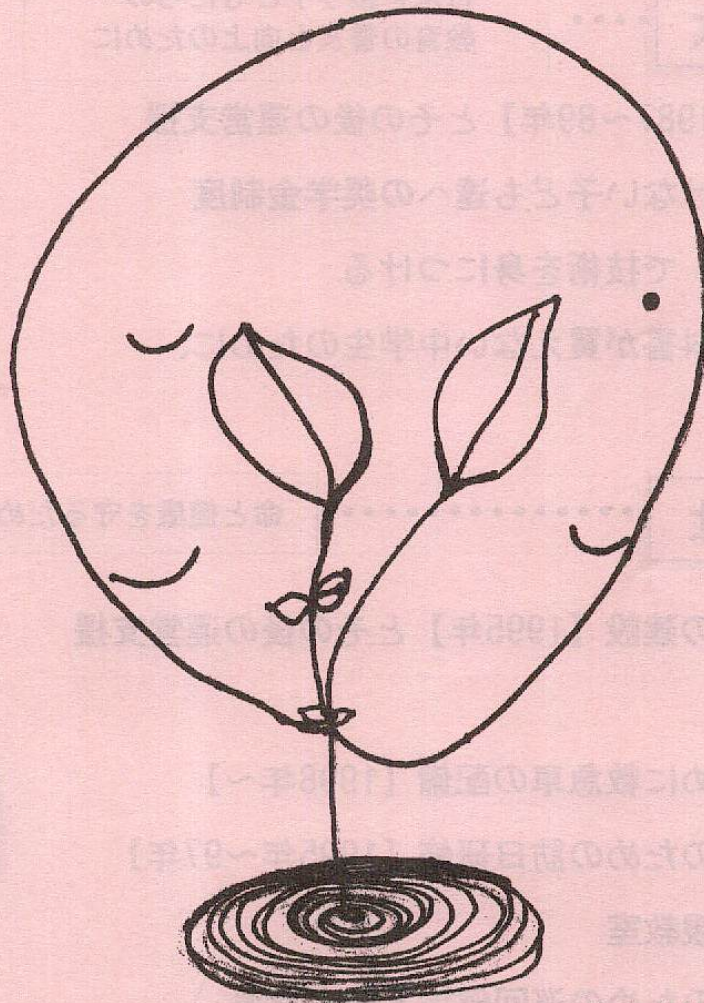
●<http://bangla.nngo.jp> ●E-mail bangla@nngo.jp

Milon

No.99

2004

SUMMER



Illustrated by pepe

～現地訪問報告会とコンサート[オカリナとギター]のお知らせ～

国際ボランティア貯金寄附金配分事業の報告を含めた「現地訪問報告会」を行います。今日のバングラデシュ、カラムディ村の状況をお伝えするとともに、それぞれのメンバーが実際に現地を訪れて感じたことなど、ライブな声をお伝えできる場にしたいと思っております。みなさま、ぜひぜひご参加ください。

- 日時:10月3日(日) 13:00 開場
13:30 コンサート (シャナのオカリナとギター演奏)
14:00 現地訪問報告会 (バングラデシュの歌2曲)

- 場所:九州キリスト教会館(福岡市中央区舞鶴2-7-7)
■入場料:1000円

■ アジアの子どもたちの未来のために ■

バングラデシュと手をつなぐ会へあなたも参加しませんか

バングラデシュと手をつなぐ会では、バングラデシュ・カラムディで現地の村人による開発のための委員会「ションダニ・ションスタ」と協力して【教育】と【医療】の分野で次のような支援活動を行っています。

教育の分野では ……

将来を担う子どもたちの教育の普及と向上のために

- ① 小学校の建設 【1987～89年】とその後の運営支援
- ② 貧しくて学校へ行けない子ども達への奨学金制度
- ③ 職業訓練【ミシン】で技術を身につける
- ④ 教科書図書館【教科書が買えない中学生のために、教科書の貸出】

医療の分野では ……………

命と健康を守るために

- ① 母子保健センターの建設【1995年】とその後の運営支援
- ② 医療設備の充実
- ③ 緊急患者対応のために救急車の配備【1998年～】
- ④ 現地医師、看護婦のための訪日研修【1995年～97年】
- ⑤ 出産前女性への母親教室
- ⑥ 村の保健衛生向上のための巡回健診と衛生指導



国内活動では ……………

夏の現地訪問、冬のスタディツアーを毎年実施しています。

- ① 会報誌【ミロン】の発行
- ② 定例会の開催【参加型学習会など】
- ③ 現地訪問の報告会の開催、報告書作成と記録ビデオの製作
- ④ チャリティコンサートおよびバザー
- ⑤ 総会【毎年4月、予算・決算と活動方針やその決定など】

2004現地訪問にあたって

代表 二ノ坂 保喜

今年の現地訪問は8月12日(木)に出発、22日(日)帰国予定です。

ラフマン、二ノ坂、篠崎の運営委員に加えて、熟年の木村喜郎^{のぶお}さん、愛知の看護師の前田智穂^{わたる}さん、長崎の高校生の宮坂 亘さん、合計6名のメンバーです。

現地訪問にあたって特に今年は、現地の治安は大丈夫か、という質問を受けることがあります。イスラム教の国ですから、少し前に起きたアフガン、イラク戦争によって反米、反日感情が広がっているのではないか、という心配でしょう。

確かにそのような動きもあるようですし、またその他に国内での政治闘争による不穏な情勢の様子も伝わってきます。

しかし、例えば日本にもいろいろな人がいるように、バングラデシュにも1億3千万のいろんな人たちがいるのです。多くの人々は、平和を望み、毎日の生活を一生懸命過ごして、子どもを育て、仕事に励んでいます。またバングラデシュは全体的にはとても親日的な国です。特にカラムディ村では、この15年間の活動を通して、日本からの思いが村人に浸透していると思います。

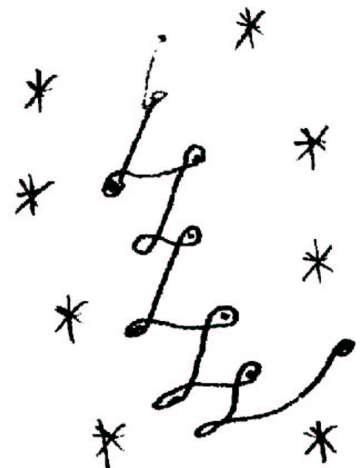
数年前に村にも吹き荒れた政治闘争の嵐も収まり、現在のカラムディ村は以前の平和な農村に戻っています。母子保健センターもサイド医師を中心に、看護師やソーシャルワーカーたちの協力で、お産の件数も増え、外来患者、入院患者の数も増えています。

ジャパニ小學校の生徒が郡レベルで優等生として表彰されたり、ガンニのオンネシャ小學校からも勉強ばかりでなく絵のコンクールで入賞したりと、教育への熱意も伝わってきます。

昨年(ラフマンさん以外に)運営委員が参加できなかった反省を踏まえて、今年は、運営委員3人が加わり、しっかりと現地との話し合いをするつもりです。特に二ノ坂は昨年訪問を断念しただけに、今年はしっかりと現地を見て、村人やNGOスタッフ、母子保健センターの医師やスタッフたちと話し合いをしたいと願っています。

皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

目次	1	現地訪問にあたって
	2~3	現地からの便り
	4	事業報告
	7	会計報告
	8	今後の行事予定



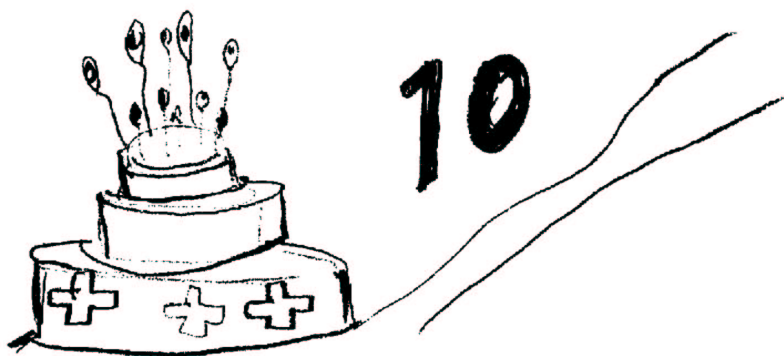
母子保健センターの目覚ましい成果

村人の強い要請で建てられた母子保健センターは、もうすぐ10回目の誕生日を迎えます。この間母子保健センターを運営するションダニ・シヨNSTAは、時には険しい道を通ってきました。疲れ果ててションダニを退会する会員や、スタッフもいましたが、ねばり強く頑張ってくれた人もいます。

私たちがいつも疑問に思ったのは、母子保健センター建設に、村人の要請や協力があつたにもかかわらず、なぜ彼らはこのセンターを利用しないのか、病人がいるのにどうして病院に来ないかといったことです。ションダニも黙っていたわけではなく、いろいろ工夫してきました。センターでどのようなサービスがあるかを地域住民に知ってもらうために広報活動を強化しました。またカラムディ村周辺11ヶ所に、サテライト・クリニックを開設して村人のニーズを把握し、また村人に対してセンターのサービスについて詳しく説明を行ってきました。スタッフの一人一人が責任を持って村人との接触を図り、人間関係を作り上げました。その結果が今年に入って目に見える形で現れています。

母子保健センターの本来の目的は、安全な出産を手伝うことでした。しかしその数はセンター建設以来ずっと20名前後でした。今年に入って、出産数が月間30名以上に上り、5月に一気に43名という数に跳ね上がりました。それにあわせたかのように、救急車使用者数も大幅に増加、なんと81回も救急車の出勤。一日平均3回です。患者数が増えることは、病院にとってありがたいですが、スタッフは大変です。特に夜中のお産であれば、スタッフは昼も夜も働かなければなりません。4名の看護師でセンターの外来、入院患者の世話、また出産の立ち会い、とても無理な話です。でも彼女たちは地域のため、無理をして働いています。本当に感謝の気持ち一杯です。センター建設当初、10名ぐらいの出産を予想して建物を建設しましたが、今は30名以上になっています。建物の増築が必要となりました。

6月の出産者数は少し減っていますが、外来患者が増えています。嬉しいことには、患者数の3分の1はカラムディ村出身者です。以前村出身の患者さんがとても少なかったのです。やっとションダニが村人に受け入れられた気がします。たいへんだと思いますが、みんな頑張っていて欲しいものです。

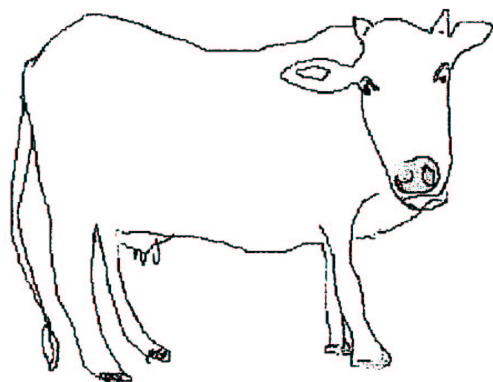


ジャパニ小学校の校長が退職

ジャパニ小学校の初代校長が今年3月で定年退職しました。学校建設当時から関わり、15年以上も様々な苦勞をしながら定年退職に至りました。私たちと意見の違いも多くあり、時には私たちの思うとおりに学校が運営されなかったことも事実です。しかし彼なりに努力したことも認めなければなりません。本当にお疲れ様です。次の校長はまだ正式に決まっていますが、副校長が現在校長代理をしています。今度こそ、協力姿勢を持った校長が誕生されること心より期待します。

子牛プロジェクト:1期目は世代交代

時はだれも待ってくれません。自分のペースで流れていきます。子牛プロジェクトが始まってから3年がたちました。この間、子牛は親牛になり、小学生は中学生になりました。1期目の牛が産んだ子牛のなかから、5頭が再配分され、新たな道をたどっていきます。子牛を育てている家族にとって、別れはとても辛いでしょう。しかしこれも新たな出発です。子牛を引き受けた家族が喜んでくれ、またこれがきっかけになって自分の子どもをしっかりと育てていくことを強く希望します。



■事業報告

癒されましたあ～！

5月9日(日)ふくふくホールにて『高田あずみ&宮坂純子デュオリサイタル』が開催されました。モーツァルトやシューベルトなど、全8曲が演奏され、会場はうっとりとした心地よさに包まれました。あいにくの雨にもかかわらず、たくさんの方にご来場いただきましてありがとうございました。また、当日お手伝いいただいたボランティアスタッフの方や西南大学ESSの方にもこの場をかりて御礼申し上げます。

宮坂さん始め、多くの方々の協力により、皆さんと一緒に素敵な時間を過ごすことができました。おふたりの力強く優しい演奏は、初夏の午後にふさわしい美しさで、心に響きました。
(篠崎)



Bangladesh で考えた参加の意味・地域保健事業の 取り組みからに参加して

7月3日九州大学国際交流プラザにおいて講師に田中雅子さんをお迎えして「Bangladesh で考えた参加の意味・地域保健事業の取り組みから」と題して学習会を行いました。

田中さんは日本赤十字社 Bangladesh 調整員として3年間、現地の地域保健事業にかかわってこられました。

そのときの経験を元に「本当の参加とは？」「誰のためのプロジェクト？」「外部者の役割とは」などについてお話を伺いました。

同じ医療機関でも、カラムディ村とは違う環境、諸事情、経済格差などどれも興味深い内容で複雑な問題を抱えていることも知りました。今後、地域としてのカラムディ村だけではなく Bangladesh という国家についても勉強を重ねたいと感じました。次回また機会があれば、どうぞ皆さんもご参加ください。
(井口)

■INFO 1

●○○○●○○○今年の夏、福岡が熱くなります！●○○○●○○○●○○○●
第22回開発教育全国研究集会

『いのちを育む学び ～グローバルに、ローカルで』

人・モノ・情報etc・・・国境を超えていろいろなものが行き交う時代、その一方で、紛争や貧富の拡大、経済摩擦、自然環境破壊など、地球規模で考える課題が増えてきました。また、イラク戦争、長崎の悲しい事件などなど・・・「いのち」という言葉が、これほど揺れ動いている今・・・これらの問題の一つ一つを、「他人事」ではなく「自分事」として考える、そして自分にできる一歩を踏み出すこと、それが私たちの考える開発教育です。

「何かおかしいよね」「このままじゃいけないよね」と感じる人たちの〈オモイ〉を〈カタチ〉にする場として、開発教育全国研究集会を開きます。普段なかなか体験できない貴重なワークショップや、海外からのゲスト講座、思わず「う～ん」とうなる実践報告するなど、それぞれの一歩につながるヒントがたくさん散らばっています。開発教育に関心のある方、開発教育、国際理解教育を進める教員や学生、一般の方などぜひ、ご参加下さい。

主催 (特活)開発教育協会

第22回「開発教育全国研究集会」実行委員会

会期 8月7日(土)～8日(日)

場所 西南学院大学(福岡市内:地下鉄西新駅から徒歩5分)

費用 2日間:一般5,000円・会員、学生4,000円

1日間:一般3,000円・会員、学生2,000円

パネルディスカッションのみ:1,500円

高校生以下:1,000円

お問い合わせ : 第22回「開発教育全国研究集会」福岡事務局

〒810-0073福岡市中央区舞鶴2-8-15 福岡YWCA会館内(担当:椿原)

Tel-Fax 092-713-5739

E-mail zenken@dear.or.jp

<http://members.jcom.home.ne.jp/happer/zenken22.htm>

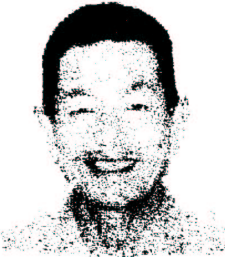
または開発教育協会 <http://www.dear.or.jp>

■国際ボランティア貯金の配分決定。産婦人科病棟建設へ。

平成16年度の国際ボランティア貯金の配分を受けてカラムディ村に産婦人科病棟の建設が決まりました。配分金額は建設総額の8割分205万6千円で、残り2割分と内部の設備については会が資金を調達して完成させることになっています。完成後は出産前後の管理だけでなく、待合室を利用して村の女性たちへの指導や医療スタッフへの研修を実施することになります。現地の状況へのご理解と資金的なバックアップをどうかよろしくお願い致します。

■INFO 2

今年もやってまいりました、現地訪問の季節です。今年は8月12日～22日の日程で、初参加メンバー4人を含む7人が訪問の予定です。カラムティ村、母子保健センター、小学校……暑さに負けず、見て聞いて話してまいります！ それでは、今年初参加メンバーの紹介をいたします。



《木村 喜郎 さん》

バングラデシュと手をつなぐ会の活動については、二ノ坂先生を通じ良く聞いていました。たまたまニュージーランドから帰ったところ、先生から「バングラに一緒にいきませんか」と勧められ、「そうですね」で同行することになりました。

生存率20%と言われた食道癌の手術から11年目、生かされている間に何でも見てやろう、聞いてやろうと好奇心で一杯です。暑さが大変とのこと、今は皆さんに迷惑にならないよう暑さ対策に取り組んでおります。

《宮坂 亘 さん》



1987年ドイツ・ヴュルツブルク生まれ。現在高校2年生。

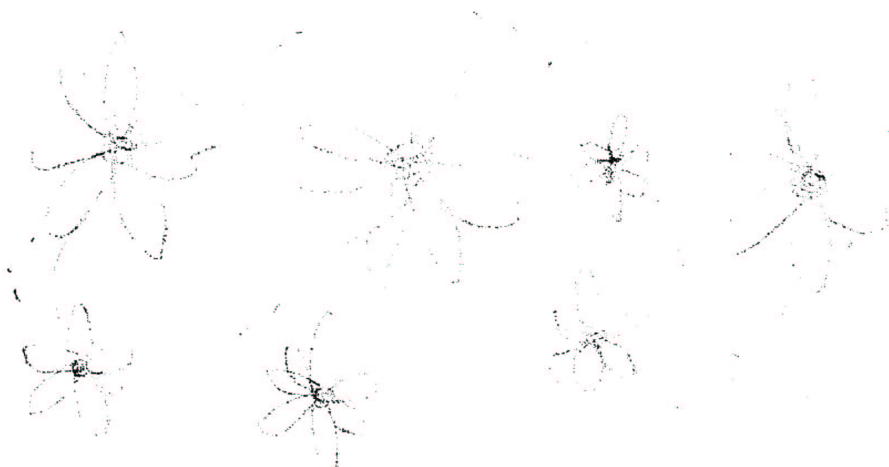
母がバングラデシュのためのチャリティコンサートをやっている関係からバングラデシュに興味を持つようになりました。また、今平和活動も少ししています。よろしくお願いいたします。

(お母様は5月にもチャリティーコンサートでも素敵なピアノを聞かせてくださった宮坂純子さんです。)

《前田 智穂 さん》

私は、看護師をしている前田智穂です。

以前、ボランティアに参加してから医療ボランティアに興味をもち看護師としても何か活動に協力できることがあればという思いと、現地の方とも触れ合ったり体験をしながらボランティアをしたいと思い参加しようと思いました。趣味はテニスです。



会計報告(2004年7月15日現在)**新会員紹介(敬称略)**

和田市次郎&佐恵子 木村喜郎 前田智穂

募金者紹介(敬称略)

片山スエ子 堀美那子 藤田健二 一步の会 千代田昭市 川村久美子
吉川八重子 川瀬京子 八木良子 杉野喜和子 竹田照 瀬良照子 長沼和子 杉園勝代 川
口順廣 佐藤米子 佐伯邦男 福本トミ子 村里ヤヨイ
早良更生園 宮辰建設会社「あゆみの会」 バングラデシュの母子保健センターを支援する会
くすりの田中(募金箱) 波多江伸子 今給黎靖子 林久美子 時枝泰司 小山田浩定 友池
ユキ 富田佳子

旅費カンパ者紹介(敬称略)

井上伊磨子 中川章子 瀧本康子 西田和子 松尾清美 小崎たか子 今給黎靖子 亀山稔
木村喜郎 中島ともこ 和田タマ 今泉弘子 瀬尾マツ子

子牛奨学資金へ 大賀久美子

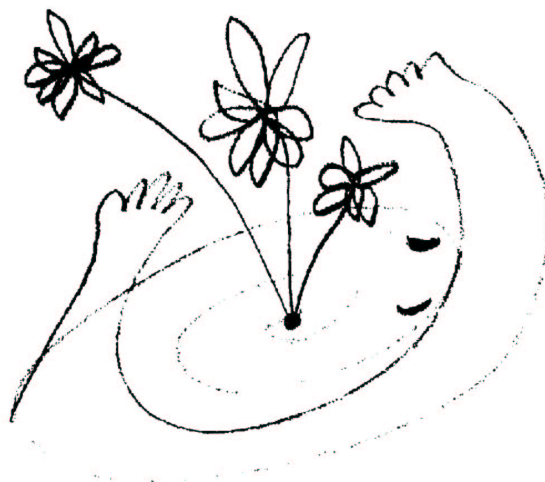
産婦人科病棟建設募金;安倍妙子

ご協力有難うございました。

事務局便り

産婦人科病棟建設のために募金キャンペーンを展開中。ぜひご協力を！！

現地訪問を前に研修がはじまり、はじめてバングラデシュへ旅立つメンバーを迎えて会にも新しい風がふきはじめました。現地では保健分野での活動が広がりを見せ、自宅での不衛生な出産から母子保健センターでの安全な出産を希望する村人が増えた結果、現在の施設では手狭になってきました。貧しい人々にも清潔で安全なお産をしてもらうために国際ボランティア貯金の配分を受け、産婦人科病棟を建設することになりました。設備を整えるために募金キャンペーンを展開しています。皆さんの更なるご協力をよろしくお願い致します。(会計:宇治)



今後の行事予定 [場所、時間を変更する場合がございます。ご確認のうえお出かけください]

月	日	時間	内容	場所
8月	5日(木)	19時～	事務局会議	事務所
	7日(土) 8日(日)	9時30分～ 9時10分～	開発教育全国研究集会	西南学院大学 キャンパス
	12日(木) ～22日(日)		2004年度現地訪問	バングラデシュ ダッカ&カラムディ村
	26日(木)	19時～	運営委員会	事務所
9月	2日(木)	19時～	事務局会議	事務所
	16日(木)	19時～	運営委員会	事務所
	23日(祝)	11時～	報告書印刷	にのさかクリニック
	30日(木)	19時～	事務局会議	事務所
10月	3日(日)	13時30分～16時	2004年度現地訪問報告会& オカリナコンサート (国際ボランティア貯金配分事業報告)	九州キリスト教会館
	14日(木)	19時～	運営委員会	事務所
	24日(日)	11時～20時	地球市民どんたく出展	ソラリア1階ゼファ
	30日(土)	13時～ 17時30分	地球市民どんたくセミナー	あいれふ 9階大研修室
	30日(土)	14時～	バザー用品値段付け	にのさかクリニック
	31日(日)	13時～15時	チャリティバザー	にのさかクリニック前 駐車場

■入会のご案内

会員募集中

Bangladesh と手をつなぐ会にあなたも参加しませんか？

Bangladesh と手をつなぐ会では、 Bangladesh ・カラムディ村の教育と医療への協力活動を支えてくださる会員を募集しています。

会員

会の運営にかかわり手伝い方：総会の議決権を有します。

会費 月額500円 年間6,000円

賛助会員

会の趣旨に賛同し、ご協力いただける個人または団体の方。

会費一口月額1,000円年間12,000円

※ 何口でも結構です。

会費振込先 郵便振替口座 01720-2-10442
 加入者名 Bangladesh と手をつなぐ会

※入会をご希望の方は、以下の用紙にご記入の上、郵送またはFAXにてお送りください。

きりとりせん

■ Bangladesh と手をつなぐ会入会申込書 ■

申込み年月日 年 月 日

フリガナ

氏名

男・女

生年月日

明・大・昭・平

年

月

日

才

職業

住所

〒 -

電話・FAX

E-mail

@

会員 協力会員 として入会を申し込みます。

会費は 年 月分 から 年 月分までの

円を 直接 郵便振替で納めます

2004年地球市民どんたく ～知る、やる、感動 国際協力～

■活動紹介ブースおよびステージ

時：2004年10月23日(土)24日(日) 11:00～20:00

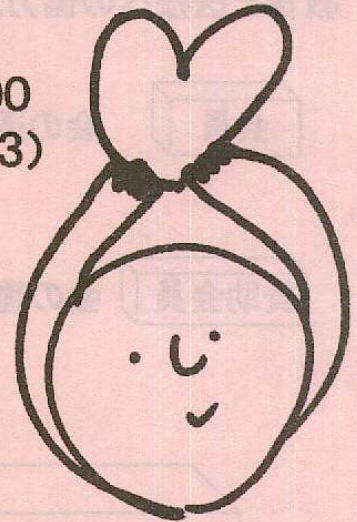
場所：ソラリアプラザ 1F ゼファ(中央区天神2-2-43)

■国際協力セミナー

10月30日(土)13:00～17:30

あいれふ

9F大研修室、8F視聴覚室A(中央区舞鶴2-5-1)



2004年 恒例 秋のチャリティバザー

主催 バングラディッシュと手をつなぐ会

日：10月31日(日曜日)

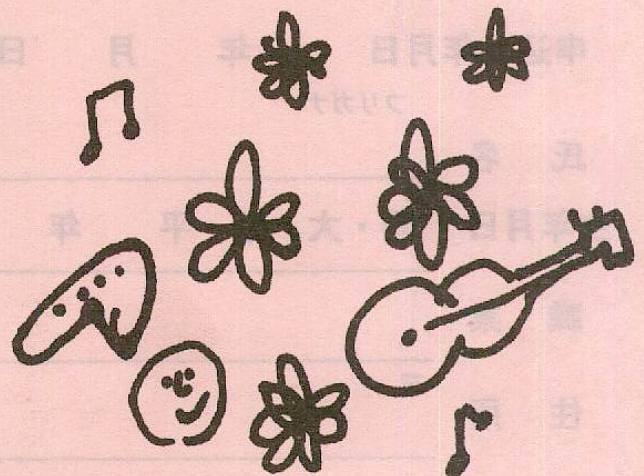
時：午後1時～午後3時

場所：にのさかクリニック前駐車場

オカリナ・ミニコンサート【Shana】

12時30分より会場にて

シャナのオカリナとギターの演奏があります。



問い合わせ先 にのさかクリニック:092-872-1136

バザーへのお誘いとお協力をお願い

恒例の秋のバザーを10月31日(日) 13時からにのさかクリニック前駐車場にて行います。

どうぞ足をお運びください。

また、販売用の品物や、値段付け、売り子さんなどのスタッフも募集しております。

ご協力よろしくお願ひいたします